

<工具の使い方>

※青塗りは必ず使用するため全員把握しておきましょう

●電動ドライバー【危険度…小】

- ・ドリルビットとネジ山のサイズが合っていないかったり、トルク（回転する力）が強すぎたり、ドライバーヘッドの押さえつけが足りないとネジ山が潰れるため注意

●ノコギリ【危険度…中】

- ・刃が進む先には絶対に手を置かない
- ・木材が動かないよう足などでしっかり固定する（手で固定する場合はあまり刃の近くに置かない）
- ・最初はゆっくりとノコギリを引いて、軽く溝を作ると歯が横にブレずにカットできる
- ・刃渡りいっぱいを使って引く時に力を入れ、押す時には力を抜く
- ・大量の木を切るのはかなり労力と時間を要するため、作成物が大きすぎる時は小さい物を提案する

●カナヅチ【危険度…中】

- ・最初は左手で釘を持って弱く打ち、自立するようになったら左手を離してから強めに打つ
- ・常に真上から打つことを意識して、斜めになってきたらすぐに修正する

●グルーガン【危険度…中】

- ・ヤケドが多いため必ずスタッフがつく
- ・先端部分は熱いので触らない
- ・電源入れっぱなしだと危ないため、使い終わったら必ず消す
- ・熱いグルーが垂れるため、絶対に持ったまま人の上を移動しない
- ・使用範囲を歩くと靴下にグルーがついて取れないことがあるため、あまり歩き回らせない

●ボール盤（穴あけ機）【危険度…中】

- ・回転する工具を使用する場合は巻き込まれる可能性があるため必ず軍手を外す
- ・最初にドリルがくる位置を確認して木材を固定してからドリルを回転させる
- ・スタッフが固定して、こどもがボール盤のドリルを下げる
- ・しっかりと固定しないとドリルと一緒に木材も高速回転するため注意

●ベルトサンダー【危険度…中】

- ・回転する工具を使用する場合は巻き込まれる可能性があるため必ず軍手を外す
- ・あまり強く押さえつけると木材が飛んだ時に指を怪我するため軽く押さえつける

●ナタ【危険度…大】

- ・ナタは細心の注意を払い、必ず使い方の分かるスタッフと1対1で使用する
- ・割れた竹でケガしないように注意（竹がどのように動くか可能性があるか想定する）
- ・振って切らず、ゴムハンマーで、ナタの背を叩いて押すように切る

●電動系のこ【危険度…大】

- ・木などで切断する木を抑える（手でもよいが怪我に注意）
- ・低～中学年の子だけでは固定できない場合はスタッフが一緒に抑えてあげる
- ・小さいものは固定しづらく暴れやすいので、危ないようであればスタッフがやる
- ・ノコギリでできるものはできるだけノコギリでやらせる